

～ マンモグラフィー検査 ～

局所性非対称性陰影

乳がんは左右同時、左右同じ位置に発生することはほとんどありません。
片側だけに陰影があり、反対側に同じ陰影がない状態です。

(良性・悪性)石灰化

カルシウムの沈着や病変の一部が変化したものです。
腫瘍と同じく形状や分布の仕方によって良性、悪性の判定がされます。

腫瘍

乳房内にある乳腺や脂肪とは若干異なる内容物でできた塊です。
濃度や形状によって良性、悪性の判定がされます。

構築の乱れ

腫瘍は明らかではないが正常な乳腺の構築が歪んでいるものです。
乳がん発見の手がかりになります。

～ 乳房超音波検査 ～

乳腺のう胞

乳管がのう胞状に拡張した状態です。乳管内部に水分が溜まること
が原因とされています。一般的に良性であることが多く、
袋の中身はただの水分なので治療の必要はありません。

乳腺線維腺腫

若い女性に最も多くみられる良性の腫瘍です。
乳腺とその周辺の線維成分が共に増殖して、乳腺内に丸く弾力があり、
触るとよく動くしこりができるのが特徴です。
小さいものであれば治療の必要はなく、経過を観察します。

乳管拡張

乳管が拡張している状態です。
乳腺の分泌過剰や、炎症によるもの、腫瘍などが原因で拡張します。
多くは無症状ですが、乳頭から血性分泌物が
生じる場合は早急に受診が必要です。

乳腺腫瘍

しこりのように見える所見があることです。良性、悪性いずれの場合もあり、
形や大きさ、境界や内部の性状から精密検査を要するか判断します。

乳腺症

30～50歳代の女性によくみられ、ホルモンバランスが崩れる
ことによって乳腺に生じる様々な良性病変の総称です。
痛みを生じることやしこりができることもあります。